

令和6年度 北海道清里高校学校学校評価結果 自己評価及び学校関係者評価まとめ

1. 本年度の重点目標

(1)	社会で生きる実践的な力の育成 インクルーシブ教育システムの構築
(2)	豊かな心と健やかな体の育成 生命を尊重する態度を養う教育活動の充実
(3)	地域とともにある学校づくり 関係機関(P.T.A・教育振興会・町教委ほか)との連携
(4)	信頼される学校づくり 個に応じた学びの保証や学力向上につながる実践
(5)	働きがいのある組織体制づくり ボトムアップ型組織への変革

2. 自己評価の基準

(保護者および生徒アンケートの結果を考慮)

◆達成状況の評価基準
A: 概ね達成した
B: 前進した
C: 達成できなかった

◆取組の適切さの評価基準
A: 適切な取組だった
B: 不十分であり次年度も工夫を加え継続する必要あり
C: 不適切な取組だった

◆改善の方策
年度末反省会議での熟議

組織名	学校運営協議会
	評価者14名

A: 適切である
B: 概ね適切である
C: 適切とはいえない

3. 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

大項目	評価項目	自己評価結果		改善の方策	学校関係者評価		
		達成状況	取組の適切さ		達成状況の適切さ	取組の適切さ	改善方策の適切さ
学習指導	学力向上や基礎・基本の定着を図る指導が充実している。	B	B	■「総合的な探究の時間」の内容をこれまでの体験学習中心のものから、主体的な学びを涵養するものへ変更 ■観点別評価の適切な運用、生徒による授業評価、職員研修により授業改善につながるPDCAサイクルを確立(教師の授業力の向上)	B	B	B
	授業形態、観点別評価を踏まえた評価方法など、個に応じた指導が充実している。	B	A		B	B	B
	生徒の情報活用能力を育むとともに、ICTを活用した生きた授業づくりを進める。	B	B		B	B	B
	T-base遠隔授業により、生徒のニーズに応じた質の高い教育を行っている。	B	B		B	B	B
	授業改善を重視したカリキュラム・マネジメントにより、教育の質、効果が高まっている。	B	B		B	B	B
評価者の意見等	地域の特性を活かした教育活動の具体的な情報発信をお願いする。T-base授業を活用した個に応じた指導、また、自主性を重んじた教育をお願いする。進路状況から、学習指導の成果が出ていると感じる。普段の授業を参観する機会を設けるべきである。						
生徒指導	思考力、判断力、情報収集・分析能力、コミュニケーション能力を育む教育活動が充実している。	B	B	■HR活動、生徒会行事を通し、学級経営を充実 ■学年を中心としたきめ細やかな指導 ■全体指導と個別指導のバランスを重視した指導 ■教育相談を中心とした生徒に寄り添った根気強い指導 ■部活動の充実	B	B	B
	公共心や倫理観を育み、社会の発展に寄与する態度を養うボランティア活動等が充実している。	A	A		A	A	A
	多様性を認め合い、いじめを未然に防止する人権教育が充実している。	B	B		C	C	B
特別活動	特別活動や部活動の充実で、達成感・充実感・連帯感を高め、感動する心が育まれている。	B	B	B	B	C	
評価者の意見等	多様性を認め合う心、いじめに対する対応、部活動を通じての達成感など、学力も大切だが、心を育む教育をもっと大切にしてほしい。地域と連携も大事な部分ではあるが、押しつけることなく、生徒自らが考え行動していけるようサポートをしてほしい。						
進路指導	キャリアパスポートや進学講習が充実し、学習意欲の向上や学習習慣の定着が図られている。	B	B	■「総合的な探究の時間」を柱とした3年間をキャリア教育の構築 ■地域活動を通し、生徒と社会のつながりを広げるキャリア教育の推進 ■各種ガイダンスを充実と個に応じた適切な指導	B	B	B
	体験的活動により、相手を尊重し深い関係を築く力を醸成している。	A	B		A	A	B
	地域行事への参加やボランティア活動等を通じた地域貢献を重視している。	B	B		B	A	B
	ガイダンス等とおして、望ましい職業観・勤労観が育成されている。	A	B		B	B	B
評価者の意見等	地域行事への参加やボランティア活動などへの積極的な取組の継続を期待する。進路指導では生徒個人の意見を尊重するのは大事ではあるが、両親の意見も大事。進学する場合は、将来の目的にそって実際に就職する場合の生活も視野に入れて対応するべきだと感じている。(将来設計を鑑みての指導を)「地域とかかわる」というテーマがだんだんと強く見えてきたことが評価できる。						
健康・安全	自他の生命を尊重する態度や健康保持増進のための実践力を養う教育活動が推進されている。	B	B	■自己肯定感を高める授業づくり ■講話・体験授業などによるモラル育成	B	B	B
	防災・防犯教室等を通して、危険に気付き回避する能力を育成している。	A	A		A	A	A
評価者の意見等	他人を思いやる気持ちを育ててほしい。いじめの対応など職員も自分事としてとらえ、生徒へ寄り添った指導をお願いする。これまでの指導の継続をするだけでなく、特に闇バイトについて、在学中はもちろん、卒業した後のことも考えた注意喚起などの取組を実施すべき。						
学校運営	地域や保護者への情報提供が充実し、情報交換等ができる関係を構築されている。	B	B	■MA+CHプロジェクト推進により、探究活動を中心とした教育内容への変換、全職員が学校ビジョンを理解・共有 ■分掌再編による業務のスリム化、管理職との連携	B	B	B
	学校運営協議会を活用することで、学校運営の改善・充実、職員の働き方改革が推進している。	A	A		A	A	A
	前例踏襲にとらわれず、教育活動や業務の大胆な見直しを進めている。	B	C		B	B	B
	職員の協働意識と経営参画意識に基づいた組織づくりが推進されている。	B	C		B	C	B
	備品や設備の整備が適切に行われている。	B	B		B	B	B
評価者の意見等	新しい取組や改革には反対も多くなるが、従前の取組だけでなく変えるところは変えて何事も積極的に取組をしていくべきである。地域おこし協力隊との連携に期待している。異動で職員の半数以上が入れ替え、なおかつ新規採用が増えると、管理職の負担が重く学校運営に支障をきたすので、教職員の任用に関してCSとして強く配慮を要望したい。						